

**田中貴金属グループが、
「川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会」および
「川崎港カーボンニュートラルポート形成推進協議会」に入会**

～カーボンニュートラル社会の実現に水素関連事業で貢献～

TANAKA ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：田中 浩一朗）は、田中貴金属グループが川崎市（神奈川県）の「川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会」および「川崎港カーボンニュートラルポート形成推進協議会」に入会したことを発表します。

田中貴金属グループは、神奈川県内に生産工場を持ち、1980年代から燃料電池用電極触媒の開発を行ってきました。2013年にはFC触媒開発センターを開設、専用工場として研究と安定した貴金属触媒の供給を行っています。

また川崎市は、2015年に「水素社会実現に向けた川崎水素戦略」を策定し、関係企業とともに様々な実証プロジェクトを実施してきた水素先進都市であり、2022年3月には「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想」を策定、2022年5月に同協議会を設立し、水素を軸としたカーボンニュートラルなエネルギーの供給拠点の形成等を目指しています。

【水素エネルギー活用によるカーボンニュートラル達成への取り組み】

田中貴金属グループは、地球温暖化という地球規模の社会課題に対し、2050年までにカーボンニュートラルを達成する目標を掲げ、燃料電池用触媒のリーディングメーカーとしても、脱炭素社会に資する技術を自ら、そして社会に積極的に実装していくことに挑戦しています。このたび具体的な施策として、神奈川県が生産工場へ国内最大級となる燃料電池発電設備の導入を決定しました。導入以降も水素エネルギーの利用を拡大していく方針から、臨海部での水素供給拠点の形成を目指す川崎市に期待し、その構想の施策を検討・推進する協議会へ入会しました。これを機に、同市や関係企業との連携を深めていきたいと考えています。

【川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会・川崎港カーボンニュートラルポート形成推進協議会について】

2050年のカーボンニュートラル社会実現に向け、日本のカーボンニュートラル化を牽引するモデル地域を形成すべく、川崎市により官民協議会として設立されました。川崎臨海部（川崎港）におけるカーボンニュートラルコンビナート（CNK）及びカーボンニュートラルポート（CNP）の形成の推進を目的に設置され、企業間連携によるプロジェクト創出の取り組みなどを行っています。

田中貴金属グループ加入前（2023年9月の前回協議会）時点で84社2機関（国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局）が参画しています。

※協議会についての詳細は下記URLをご参照ください

<https://www.city.kawasaki.jp/590/page/0000139903.html>

会社情報

■田中貴金属グループについて

田中貴金属グループは1885年（明治18年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇り、長年に渡って、産業用貴金属製品の製造・販売ならびに、資産用や宝飾品としての貴金属商品を提供しています。貴金属に携わる専門家集団として、国内外のグループ各社が製造、販売そして技術開発において連携・協力し、製品とサービスを提供しています。2022年度（2023年3月期）の連結売上高は6,800億円、5,355人の従業員を擁しています。

■産業事業グローバルウェブサイト

<https://tanaka-preciousmetals.com>

■報道機関お問い合わせ先

- ・ T A N A K Aホールディングス株式会社
サステナビリティ・広報本部 広報・広告部

お問い合わせフォーム

<https://tanaka-preciousmetals.com/jp/inquiries-for-media/>